

徳島県読書バリアフリー推進協議会の開催状況及び計画骨子案について

1 推進協議会の開催状況

（１）開催日時

- 第 1 回（課題等の協議） 令和 3 年 1 月 2 5 日（月）午前 10 時から 12 時まで
第 2 回（骨子案の審議） 令和 3 年 2 月 1 9 日（金）午前 10 時から 11 時 30 分まで

（２）協議会委員（１５名）

- 委 員 長 富樫 敏彦（徳島文理大学 准教授）
副委員長 高原 光恵（鳴門教育大学教職大学院 准教授）
委 員 障がい者団体、福祉、教育、図書館、ＩＣＴ、ボランティアの各関係者

（３）協議会委員から出された主な意見

- ・視覚障がい者等が読書支援機器を使えるよう、機器の普及促進や、導入をサポートする支援体制の構築を進めていただきたい。
- ・点字、音訳図書等がいつでもどこからでも入手できるよう、点字図書館と県立図書館、市町村図書館、大学図書館、学校図書館のネットワークづくりが重要である。
- ・計画の対象に「知的障がい」を加え、誰もが図書館で本を借りたり、困ったときに相談できる環境整備をお願いしたい。
- ・音訳、点訳のボランティアが継続して活動できるよう、若年者の人材確保・養成のための取組を推進していただきたい。
- ・県 G I G A スクール構想の一人一台タブレットを活用し、点字図書館等と連携して、児童生徒による点訳・音訳体験や、点訳・音訳図書の製作支援につなげてはどうか。

2 徳島県読書バリアフリー推進計画 骨子案

（１）計画の位置づけ

- ・本計画は、徳島県において読書バリアフリー法の理念を具現化するとともに、デジタル化をはじめとする社会の変革に対応し、視覚障がい者等への支援施策の一層の充実強化を図るために策定します。
- ・各施策を評価するための具体的な指標を設定し、計画の進捗状況を検証します。

（２）計画期間

令和 3 年度から令和 6 年度の 4 年間

（３）施策の基本方針

- ① 点字図書や音訳図書等（アクセシブルな書籍）の充実及び製作人材の養成・確保
 - ・障がいの種類や程度に応じた、様々な分野の「書籍の充実」
 - ・関係者の連携体制の構築による「製作人材の養成・確保」
- ② アクセシブルな書籍の入手及び利用のための支援
 - ・読書支援機器の入手、利用方法習得のための「支援体制の整備」
- ③ 読書を支援する環境の充実と人材の養成
 - ・視覚障がい者等が図書館を円滑に利用できる「環境の充実」

（４）今後のスケジュール（予定）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 令和 3 年 3 月中旬～4 月中旬 | パブリックコメントの実施 |
| 5 月 | 第 3 回推進協議会（計画案の審議） |
| 6 月 | 県議会文教厚生委員会への計画案報告 |
| 7 月 | 計画策定 |